

神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2020年 11月号

発行所
神戸教区事務所
TEL 078(351)5469
FAX 078(382)1095
<https://www.nskk-kobe.org/>

発行責任者
司祭 上原 信幸

印刷所
文明堂印刷所

聖なる勤め

司祭 パウロ 上原 信幸



沢山出てきます。イエス様の

弟子にもバルヨナとかバルナバ、バルトロマイなどありますが、イエス様によって病が癒された人に、バルティマイ(テマイの子)という人物がいます。マルコ伝には、「その盲人は、上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエスのもとに来た」と、実にいきいきとした様子が見え、読み取ると、私たちもそのバルティマイの嬉しそうな姿を、思い浮かべることが出来ます。

隔てる者

目を向けたいたいの、この出

来事が起こった時のイエス様をとりまく弟子達の姿です。彼らの心の中には、物乞いをしていて盲目のバルティマイのことなど、全くありませんでした。「大切なイエス様のご用を、物乞いなどに邪魔させてはいけません。イエス様はお忙しいのだ。幸い、イエス様とこの男の間には距離があるのです。この男を黙らせれば、イエス様もこの男に煩わされずに、ご用をなさることが出来る」と、そのように考えていたのでしょうか。そして彼らは、イエス様に癒しを乞うこの人を黙らせようとします。

イエス様も、大勢の人に取って囲まれておられたので、イエス様からはこの男は見えない状況だったと思われれます。イエス様が立ち止まられた時、「あの男を呼んできなさい」と言われる程の距離の隔たりと、二人の間には、厚い人垣がありました。その時、二人の間に入った人々は、「安心しなさい。立ちなさい。お呼びだ」とイエス様の言葉を取り次ぎます。バルティマイも、直接イエス様のお声を聞いたわけではありませんでした。上着を脱ぎ捨て、躍り上がってイエス様のもとに来たのは、まさに、イエス様の言葉を取り次いだ人達がいたからです。

聖なる者

十一月一日は諸聖徒の日で

「聖」という言葉は、特別に清いものを表す言葉ですが、聖徒と呼ばれる人々も、特に生まれが良かったか、行いに間違いがなかったというわけではありません。聖徒は聖書の中で、神様によって特別な役割が与えられた人々と考えることが出来ます。私たちも、神様によって、普段の生活の中で、また社会の中で、神様から、かけがえない役割を与えられていること、まさに人が、躍り上がって、上着を脱ぎ捨て、走り出すような素晴らしい役割が与えられていることを、覚えていたいと思います。イエス様は「小さい者のために行くことはわたしのために行くことになる」と教えられました。取るに足りない私たちの働きが、神様の喜びとなる。そのことをこの収穫の秋、特に覚えてまいりたいと思います。

(岡山聖オーガスチン教会・高松聖ヤコブ教会牧師)

家族の絆といえば、名前自体が「だれその子」という意味を持つ登場人物が、聖書に

新司祭誕生!! 広島復活教会にて按手式執行



「もご検討下さい」との嘆願により、行なわれることになったとの報告がありました。

参列者は三密を避けるため、主に広島伝道区の信徒と広島伝道区及び隣接する伝道区の聖職に限定され、約四十五名が出席しました。尚、六月の執事按手式同様、この按手式もインターネットでのライブ配信が行なわれました。

説教者の小南 晃司祭は、「ヨハネ福音書十章十一節」わたしは良い羊飼いです。良い羊飼いは羊のために命を捨てるから「イエスに倣って良き羊飼いを目指してください」と語られました。

礼拝後、同教会教会委員の橋口 満氏から、論語にある「久徵(きゅうちゆう)」、誠実にたゆまず励んでいけば、いつか必ず目に見える形でその結果が現れるという意味の言葉が紹介され、永野司祭の誠実な人柄はそのような結果を

生むと信じていると挨拶されました。
永野拓也司祭の今後の働きの上に主の恵みと祝福の豊かなことをお祈り致します。

(広報部)



司祭職に召されて

九月二十一日に、司祭に按手されました永野拓也です。まず初めに、司祭按手式に際してたくさんのお祈りと支えをいただきありがとうございます。

コロナ禍の中で行われた按手式ということもあり、多くの方が心配して下さったことを感じていました。しかし私はコロナ禍とは関係なく、これまで紆余曲折の歩みを経てきました。その為、司祭職に按手されたことは、本当に神様の不思議な導きだと感じています。大学時代、私は神学を学んでいました。

その為、同級生には牧師になつていく友人がたくさんいます。しかし、牧師になつていく友人たちの姿を見れば見るほど、私自身が聖職志願することは不可能に思えました。

召命というものを感じられなかったからです。その結果、聖書科の教員として教育現場に身を投じることになりました。そこで出会った生徒たちは、私にとってかけがえのない存在でした。彼らからたくさんのお話を聞かされ、教員として働き続けることにやりがいも感じていました。そんな私が、仕事を辞め神学校に入り、こうして司祭として按手されたのです。

聖職志願するにあたり、何か決定的なことがあったのかと問われることがあります。しかし私には、特に大きな出来事があった訳ではありませんでした。自分の努力や行いで道を切り開いた訳でもありません。私の意識の及ばないところで、少しずつ様々な出来事が重なっていったのです。そして、その一つ一つを神様が道を備えて下さった

のではないかと感じています。同時に、たくさんの方が祈り続けて下さったからだと感じています。教会の主日礼拝の中で、そして日々の祈りの中で。司祭按手の日を迎えるまでに、私の為にたくさんの方が祈って下さっていることを知る日々でした。皆さまの祈りが、本当に大きな支えになりました。

私は、これから司祭としての働きを始めていきます。神様のみ言葉を宣べ、聖奠を行い、宣教と牧会の働きを遂行するために、日々精進していきたいと思えます。しかし、その働きがいつでも皆さまの祈りによって支えられていることを心に刻んでおきたいと思えます。そして、謙虚な姿勢で神様の宣教に参与できればと思えます。今後ともご加禱の程、よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さまの上に神様の祝福が豊かにありますことをお祈り申し上げます。

司祭 永野拓也・
広島復活教会副牧師

オーガスタンの まなざし



主教 小林 尚明

本大震災と福島第一原子力発電所事故による被災者支援活動「いっしょに歩こうプロジェクト」と二〇一九年に仙台で行われた「原発のない世界を求める国際協議会」、平和について沖縄の現実や広島平和礼拝、また今回のコロナ禍の中で日本聖公会の現状とアジアにおける国際交流でした。

九月十日(木)、USPG (UNITED SOCIETY PARTNERS IN THE GOSPEL)の「全世界の宣教における仲間(PARTNERS IN GLOBAL MISSION)」というオンラインセミナーに長女と共に出席し、日本聖公会を代表して日本聖公会の宣教について発表しました。今回のテーマは、「バンングラデシユと日本からの洞察」でした。

バンングラデシユ合同教会は、一九七一年に聖公会と他のプロテスタント諸教会が合同して成立しました。全世界聖公会共同体の一員で、二〇一五年にバリサール教区が新設され、現在は三教区です。一〇一教会、聖職数三十九名、伝道師四十五名、信徒数約二〇、一六〇名。バンングラデシユ教会を代表して発表してくださったのはバリサール教区のシヨラプ主教様とスシータ夫人でした。私たちが発表した内容は、二〇一一年に起こった東日

本大震災と福島第一原子力発電所事故による被災者支援活動「いっしょに歩こうプロジェクト」と二〇一九年に仙台で行われた「原発のない世界を求める国際協議会」、平和について沖縄の現実や広島平和礼拝、また今回のコロナ禍の中で日本聖公会の現状とアジアにおける国際交流でした。

シヨラプ主教様たちの発表は、今回のコロナ禍に対する教会の働きでした。バンングラデシユは、人口約一億六千万人。コロナ感染者約三十三万人、死者約四、六〇〇人。コロナ禍の中で、九十一%の家族が経済的不安定に陥り、七十%が食糧の不安を経験し、八十%の人達が失業したといわれていました。それらの人々に対して、教会が行った活動は、コロナウイルスについての教育、マスクや消毒液の作成と配付、外出できない人たちへの基本的な健康診断、病院に行けないお母さんや子供たちへの訪問介護、地方の無視された子供たちへの食糧支援、貧しい人たちへの金銭的支援、全ての教会の前に、簡易タンクを置き、手洗いの奨励と実施指導などでした。彼らの発表を聞きながら、今回のコロナ禍の中で、私たちの教会は何をしたのか、反省させられた出来事でした。

(神戸教区主教)

コロナ禍での学校

今年三月二日から春休みに入るまで、政府からの通達によって、全国の学校が臨時休業したこと、皆さんは覚えていらっしゃるでしょうか。コロナ禍において、学校は三密を避けるなどの様々な対策を講じた取り組みを強いられました。

今回は、コロナ禍の中で、聖公会関係学校がどの様な対策を取られたのかを、皆様へお伝えするため、神戸国際大学附属高等学校の田阪茂政・藤井順二両教頭からリモート取材でお話をお伺いすることが出来ました。田阪先生、藤井先生、ご協力感謝致します。
(取材：広報部 司祭 浪花朋久)

一、卒業式と入学式はどの様に行いましたか

本校の卒業式は、毎年二月に行っていることもあり、コロナ流行の前で幸いにも通常通り行うことができました。

また、入学式は毎年明石市民会館で実施しています。今年も何とと同じ場所で行なうことが出来ましたが、感染症対策として密を避けるために座席の間隔を空け、扉を開け

て風通しをよくし、出席者は全員マスクを着用するなどの対策を取りました。また、家族でも子ども・高齢者の方々には出席を控えていただきました。壇上に上がる教員・学校関係者も制限し、式そのものも短縮した形で実施しました。今年度の入学者数は二六三名でした。

二、学校が休校になった時の率直な感想は

先行きの見通しが立たない中で、生徒への課題作成・郵送・提出方法など、学習の対応で追われていました。

三、緊急事態宣言最中の学校の対応(授業や生徒指導)はどの様にされましたか

ホームページを通して、国・兵庫県からの指示に従って生徒・保護者に通知してまいりました。

また、登校可能日(学年別登校)を設定しました。その際は生徒に体温計測をはじめマスク着用で、教室では密を避け、手指の消毒を徹底し、学習課題の配布・提出、学校からのお知らせの配布を目的に設定しました。生徒たちも学校に登校することで少し安心しているように感じました。

四、緊急事態宣言解除後の授業は、どの様にされてきましたか

六月初めは、クラス単位で出席番号の偶数と奇数に分けて登校させる「分散登校」という形で授業を再開しました。そのため各教科の担当教員は、同じクラスで同じ授業を二回行うことになりました。

六月十五日から通常授業を再開しました。本校は私立ですが、コロナ対策については県の指導の下、県立高校に準拠する形で対応しました。

五、緊急事態宣言解除後の生徒と教員の反応はいかがですか

通常授業の再開から、校内で友人たちとゆっくり過ごせる生徒たちにとって、「普通に学校に行けること」が有難いことと感じたのではないかと思います。

一学期は、密を避けるために学生食堂は閉鎖しました。二学期は、対策を講じて八月三十一日より食堂を再開しました。また、生徒たちは制限された中で部活動が行われています。生徒・教員共に「新しい生活様式」に慣れようとしている現状です。現在、様々な行事が普通に行えない状況の中、「普通」であることの有難さを実感しています。

鳩だより 《敬称略》

祝洗礼

九月十三日(日)

ミカエル 石部 強
米子聖ニコラス教会

九月二十七日(日)

アンドレア 佐藤 悦子
徳島インマヌエル教会

初 陪 餐

九月二十七日(日)

ミカエル 石部 強
米子聖ニコラス教会

一 逝 去

九月二日(水)

山本 憲子
福山諸聖徒教会

九月二十七日(日)

ルカ 永岡 國男
松江基督教会

マルコ 田上 貞夫
鳴門聖パウロ教会

十月三日(土)

クリスマスナ 高田 恭子
大洲聖公会

教 籍 移 動

十月一日(木)

マリヤ岡 房枝
倉敷聖クリストファー教会より
岡山聖オーガスチン教会へ

10月中旬発売

聖公会手帳 2021年版

「祈り」のページを大幅増補!

☆各教区の全面的協力ののもとに
日本聖公会管区事務所が責任編集!

大型判 2,200円(税込)

ポケット版 1,200円(税込)

・お申込みは、聖公書店(☎04・2900・2771)
またはお近くの書店まで、お早めに!

12月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2020年12月3日(木) 午前10:30
場所 神戸聖ミカエル大聖堂
司式 主教 小林 尚明
説教 司祭 柳本 博人

*12月の記念逝去教役者

2日	主 教	チャニング	ウイリアムズ
2日	司 祭	ヨハネ	長 壽 泉
5日	伝道師	森	慶 三
5日	司 祭	テモテ	岩 井 祐 彦
7日	伝道師		武 田 頼 夫
10日	司 祭	パウロ	島 田 信
10日	伝道師	パウロ	大石虎太郎
14日	宣教師	イブリン	プレストン
14日	司 祭		水 野 功
14日	司 祭	ペテロ	貫 主 税
16日	司 祭		尾 形 虎 三
19日	宣教師	マリー	ホ ー ム ズ
20日	宣教師	ハナ	ス コ ッ ト
21日	司 祭	ペテロ	加藤九十九
25日	伝道師	マリヤ	永 沼 輝 子
29日	司 祭	マルコ	伊 墻 八 東
30日	宣教師	オードリー	ヘ ン テ
31日	司 祭	マルコ	杉 野 貢

公 示

日本聖公会神戸教区第90(定期)教区会を
下記のように招集します。

救主降生2020年10月1日
日本聖公会神戸教区 教区会議長
主教 オーガスチン 小林尚明

記

日本聖公会神戸教区第90(定期)教区会

日時:2020年11月23日(月・祝)
午前9時から午後5時まで
(10時より各会場で点呼)

場所:神戸聖ミカエル大聖堂、及びその他

本教区会を招集するにあたり、書記を
下記のように任命します。

司祭 セバスチャン 浪花朋久
フランツ 東 弘彦